

2006年

市高ニュース

No.2

学校長挨拶

平成18年もはや12月になりましたが、各中学校の皆さんは学習を中心に学校活動に精励されていることと思います。

今年も「市高ニュースNO.2」をNO.1に続き送付いたします。市高でも、3年生は一人ひとりの志望進路を獲得するため、追い込みの時期となっており、センターテスト対策、進路別入試に向けて熱心に授業、補習、直前模試、家庭学習に取り組んでいます。

市高では本年から前期選抜入試、進路指導等を主とした説明会を一部の地域と本校の会議室で開きました。中学生の皆さんや保護者の方々に、より市高への関心と理解を深めていただきたい、との主旨からでした。

中学3年生の皆さんも進路決定をして、志望校合格をめざし一生懸命努力されていることでしょう。健康に留意され中学校のすべての活動に取り組まれている中、「市高ニュースNO.2」をよんでくだされば幸いです。

徳島市立高等学校 学校長 櫻山 卓

祝 第29回全国選抜高校テニス大会 出場
女子テニス部

11月18～19日に開催された四国地区大会において、女子団体優勝を果たし、2007年3月21日(水)～27日(火)に福岡市博多の森テニス競技場他で実施される全国選抜大会へ出場します。本校、女子テニス部の活躍をご期待ください。



市高ってどんな学校(PART 1)



国際化に対応できる視野の広い生徒を育てます。

市高レインボウプランで一人一人の希望進路の実現を図ります。

市高生の活躍(8月以降おもなもの)

体育関係

- ◇テニス部
 - 全国選抜高校テニス大会四国地区大会 女子団体 優勝
 - 県高校新人テニス大会
 - 女子団体優勝
 - 女子シングルス準優勝、3位
 - 女子ダブルス準優勝、3位
 - 男子団体準優勝
 - 男子ダブルス3位
- ◇弓道部
 - 県高校選抜選手権大会
 - 男子団体 第3位
 - 女子団体 第3位
 - 男子個人 第3位
 - 女子個人 第3位
 - 第13回50射選手権大会
 - 高校男子個人 優勝
 - 高校女子個人 優勝、第3位
 - 県新人学年別選手権大会
 - 女子1年個人 優勝
 - 女子2年個人 第3位
 - 男子1年個人 準優勝
 - 第61回国民体育大会
 - 遠の少年女子 第6位
 - 第8回紫雲旗高校弓道大会(全国選抜遠の大会)
 - 女子団体 準優勝
 - 男子団体 第3位
- ◇ラグビー部
 - 全国高校ラグビー県予選 第3位
- ◇バスケットボール部
 - 全国選抜大会県予選 第3位

- ◇サッカー部
 - 第2回県高校女子サッカーリーグ 準優勝
- ◇陸上部
 - 県新人陸上大会
 - 男子400mハードル 第3位
 - 女子100m 第3位
 - 女子4×100mリレー 第3位
- ◇バドミントン部
 - 県高校新人学年別大会
 - 男子2年ダブルス 準優勝
 - 男子1年ダブルス 準優勝
 - 男子1年ダブルス 第3位
 - 男子1年シングルス 第3位
 - 女子2年ダブルス 第3位
 - 県高校新人大会
 - 男子団体 第3位
- ◇水泳部
 - 全国高校総体
 - 男子100m自由形 第3位
 - 第61回国民体育大会
 - 少年女子A 100m 自由形 第7位
 - 100m バリデイ 第8位
- ◇ボート部
 - 全国高校選抜大会四国予選
 - 男子舵付きクワドルブル 第4位
- ◇登山部
 - 県高校登山競技選手権大会
 - 男子団体 第3位
- ◇ソフトボール部
 - 県新人大会 女子 第3位

文化関係

- ◇オーケストラ部
 - 県高校コンクール高校の部
 - 弦楽器部門 最優秀賞、優秀賞
 - 管弦楽部門 奨励賞
 - 全国高校合奏コンクール徳島大会 最優秀賞
 - 全国高校総合文化祭 文化連盟賞
- ◇合唱部
 - NHK全国学校音楽コンクール 高校の部
 - 徳島大会 金賞
 - 四国ブロック大会 奨励賞
 - 全国高校総合文化祭 文化連盟賞
 - 県高校コンクール高校の部 合唱部門 奨励賞
- ◇書道部
 - 県高校総合文化祭 奨励賞
 - 武庫川女子大学全国高校書道展 特選
- ◇囲碁将棋部
 - 県高校総合文化祭
 - 囲碁部門 女子団体 準優勝
 - 個人 奨励賞
 - 将棋部門 女子個人 優勝
 - 男子個人 第3位
- ◇茶道部
 - 県高校総合文化祭 奨励賞
- ◇演劇部
 - 県高校総合文化祭 奨励賞
- ◇美術部
 - 全国高校総合文化祭 文化連盟賞
 - 県高校総合文化祭 奨励賞

資格・コンテストにチャレンジ

- ◇平成18年度 英語検定合格者数(例年合格者数は県内トップクラスです！)
 - 準1級 1名
 - 2級 13名
 - 準2級 23名
- 市高は2004・2005年度の2年連続 英語検定優良団体として表彰を受けています。
- ◇第41回徳島県高等学校英文コンテスト 第2位 佳良賞
- ◇第60回徳島県高等学校英語弁論大会 第4位(八市市長賞)
- 第8位(八市市長賞)
- ◇徳島県地区高等学校生徒生活指導連盟協議会 交通安全標語
 - 最優秀賞 優秀賞
- 非行防止標語
 - 最優秀賞 優秀賞
- ◇「税の作文」 徳島県税務署長賞

IRP(市高レインボウプラン)の取り組み

1年生活動

1年生は進路実現のための「調査の年」と位置づけています。学年やホームルームの活動を中心に幅広い知識を身につけ、様々な体験を通して進路について考えます。

1年進路学習会(12月15日)

県内外の大学や専門学校から12分野の専門の先生をお招きし、模擬授業を体験しました。

<講師の先生方の所属および専門分野>

専門学校穴吹カレッジ、岡山商科大学、徳島文理大学(文学)四国大学(外国語、芸術) 徳島文理大学短期大学部(幼児教育) 鳴門教育大学(学校教育、理科) 高知工科大学(工学) 徳島大学(医学、看護)

2年生の活動

2年生は進路実現のための「行動の年」と位置づけています。今年は進

IRPの活動に対し外部からも高い評価をいただいております。平成17年度に、徳島県教育会 学校賞を受賞しました。

路希望に応じた15の分野に分かれて、グループ学習をしています。それぞれのグループでは職業や大学・専門学校を探したり、出張講義や大学の授業を受けるなど、各自の進路実現のために独自学習が進められています。

2年進路学習会(7月14日)

進路希望により、①工学(情報・化学系) ②工学(電気・機械系) ③農学・理学 ④文学・外国語 ⑤法学・商学・経済・経営 ⑥心理・哲学・社会・総合 ⑦教育学・教員養成 ⑧保育 ⑨家政・サービス⑩体育・スポーツ系 ⑪芸術 ⑫看護・医療技術・福祉 ⑬医学・歯学 ⑭薬学 ⑮公務員・就職

出張講義や大学訪問など(11月～12月)

<主な訪問先や出張講義など>

四国大学(文学部、生活化学部)、徳島大学(薬学部、総合科学部、工学部、ゲノム機能研究センター)、徳島地方裁判所、徳島健生病院、健祥会福祉専門学校、徳島医療福祉専門学校、専門学校穴吹カレッジ、株式会社あわわ



市高ってどんな学校(PART2)



理数科は県下でトップの実績と伝統を誇り、県内外の大学、高校の方々にも高く認知されており、ハイレベルな授業、学習活動を実践しています。

理数科セミナー

※「理数科セミナー」は平成18年度徳島県教育会学校賞を受けました。(H18.12.6決定)

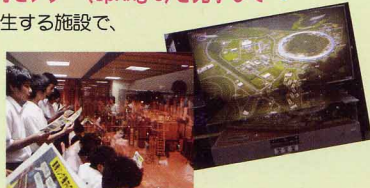
理数科セミナーとは…

理数科1年・2年では、毎年県内外の大学や研究所などを訪問し、最先端の科学・技術について学び進路選択に役立てるとともに、社会に貢献できる優秀な人材を育てていきます。

関西にある最先端の研究所へ訪問(1年生)

◆ 財団法人 高輝度光科学研究センター(Spring-8)を見学して ◆

○世界最高性能の放射能を発生する施設で、とても広い面積があった。



◆ 京都大学ウイルス研究所を見学して ◆

○ウイルスという謎の生命体について知ること、知的好奇心を刺激された。また、日本最難関大学のキャンパスを歩くことによっても刺激を受けた。

○再生医療の研究を進めている機関であった。プラナリアの再生しているところを実際に見てとてもおもしろかったし、興味がもてた。



◆ 理化学神戸研究所を見学して ◆

○生物の研究で医学を支える現場を垣間見た。治療とは別の、人命救助の道を見ることができた。OES細胞についての説明が興味深かった。



◆ JT生命誌研究館を見学して ◆

○38億年前から現在までを絵にしている「生命誌絵巻」は工夫が凝らされていて、とてもよくできていると思った。

○今いる生物すべてはたった1つの生き物から進化してきたのではないかという説を目で見る事ができて、生物、そしてヒトのさまざまな可能性を感じることができた。

○実際にDNAを見ることができ、とても貴重な経験になった。ころを実際に見てとてもおもしろかったし、興味がもてた。



鳴門教育大学とのSPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)(2年生)



大学における高度で先端的な学習環境にふれる機会を通し、生徒たちの科学技術・理科に対する興味・関心等を高め、科学的に探求する能力・態度・想像力を育て、総合科学的な自然観を身につけるために行われています。



「その道の達人」の授業(1・2年生、普通科1・2年生希望者)

◆ 高階国際クリニック院長 高階経和先生の「心臓病について」の講演を聴いて ◆

○心臓のことばかりでなく、現代の医師の実態や医師をめざすものとして何をすべきなのかということまで講義してくださり自分にとってプラスになる授業だった。



○先生の言葉の至る所に、私の今後の人生に役立てていこうと感じられるものがあり、勉強になりました。

○「モナリザ」の絵を見て、黄色の斑点があることなどから彼女は病気であると先生が判断したという話が興味深かった。芸術的なものでも、医学分野という違った観点から見ると、違ったおもしろさや興味が得られることが分かりました。



文部科学省研究費補助金 特定領域研究「ガン特定」青少年・市民公開講座 参加(1・2年生、普通科1・2年生希望者)

がんシンポジウム関連「出前授業」

< 京都大学生命科学研究科 教授 石川冬木先生 > (1・2年生)



◆ 「ガンのシンポジウム」「出前授業」に参加して ◆

○二日続けて「ガン」についてお話を聞き、ガンに関する知識が「無」だったのが、いくらガンのメカニズムや影響について理解することができたように思う。

○ガンの研究に興味があるので、とてもよかった。出前授業では、ガンについてのことを遺伝子や細胞レベルで知ることができた。

